

□年 □組 □番 名前 □

教材 5 - (1) の解答 地域の古い道具、文化財や年中行事、地域の発展につ
くした先人の具体例




【資料 1】のギザギザした板は、何に使われていたのでしょうか。これと同じ役割のものを下の①～③の中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

【資料 1】



せんたく板とたらい
よごれたところに石
けんをつけてこすり
ました。

②

<p>①</p> 	<p>②</p> 	<p>③</p> 
<p>まな板 食材を切るとき に下にします。</p>	<p>電気せんたくき せんたくは機械 が自動で行いま す。</p>	<p>おろしき わさびや大根を おろすときに使 います。</p>

考えてみよう

・ 道具が変わってどのように便利になったかな？

□

・ 便利になったものは、ほかにあるかな？

□

次の各問いに答えましょう。

- (1) 今から300～450年ぐらい前、米作りに適していない土地や場所を新しく田にする新田開発がさかんに行われました。その理由として、下の①～③の中から1つを選び、その番号を書きましよう。

- ①
- ②
- ③

ポイント
 新田を開発する、川を改修して大水を防ぐ、用水路をつくって水をひく、などに人々がどのような願いを持って取り組んだのかを考えることが大切です。

②

- (2) 水を得にくい地いきでは、遠くの川などから水を引くために、用水路をつくるなどの工夫をしました。ショベルカーなどの機械が無時代を持って作業したのでしょうか。【人々の願い】として、下の①～⑥の中から1つを選び、その番号を書きましよう。

ポイント
 電気やエンジンなどの動力が無い時代に、人々はどのような苦勞をしたのか、今に残されている（当時と近い）道具を実際に使ってみよう。

【人々の願い】

あの川から水を引くことができれば、の時でも、こまったり、や畑にまく水の心配をしたりすることが無くなるぞ。それに、水が豊富に使えれば、を増やして、もっとを作ることできるぞ。そうすれば、今より生活が豊かになるなあ。

- ①下水 ②田 ③電気製品 ④飲み水 ⑤米 ⑥工場

解答らん

(ア)



(イ)

(ウ)

教材 5 - (3) の解答

秋山さんは、ごはんをたく道具の移り変わりについて調べたことを整理し、**【表】**にまとめました。あとの問いに答えましょう。

【表】

	おじいさん おばあさんが 子どものころ	お父さん お母さんが 子どもころ	今の暮らし
道具			
ごはんを たく手順	①米をあらう。 ②かまに米と水を入 れる。 ③まきをくべて、火 かげんを見ながら たく。	①米をあらう。 ②かまに米と水を入 れる。 ③すいはんきのスイ ッチをおす。	①米をあらう。 ②かまに米と水を入 れる。 ③すいはんきのスイ ッチをおす。
燃料	まき、炭	電気、ガス	電気、ガス
気が ついたこ と	すべて人の力でして いた。	電気製品がふえてき た。	便利な電気製品がふ えた。

秋山さんがまとめた**【表】**を見て出された意見として、
最もふさわしいものを1つ選び、その番号を書きましょう。

③

①田中さん

ごはんをたくとき
は、おじいさん・
おばあさんが子ど
ものころから電気
やガスを燃料にし
ていました。



②前田さん

今の暮らしになっ
て、すいはんきの
ボタンをおすだけ
でごはんがたける
ようになりました。



③丸山さん

おじいさん・おば
あさんが子ども
のころは、ごはんを
たくとき、火かげ
んを見なければい
けませんでした。

